

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第17週 >

咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・風しん - 過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 風しんおよび先天性風しん症候群 >

先天性風しん症候群は1999年には報告がなく、2000~2003年は各1例であったが、本年は既に3例が報告されている



病原体情報
P.5-6

咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年 / インフルエンザウイルス 2004年第14週(3/29~)以降 / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004年第14週(3/29~)以降



速報
P.7-10

風疹の流行に対する県型保健所の対策 - 徳之島保健所 / 2003/04シーズンのB型インフルエンザウイルス分離状況 - 札幌市



海外感染症情報
P.11-12

中国でのSARS患者発生について



感染症の話
P.13

今週はお休みです



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(17週)
P.14-20



17週のデータ
P.21-30



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第17週コメント 4月30日集計分

全数報告の感染症

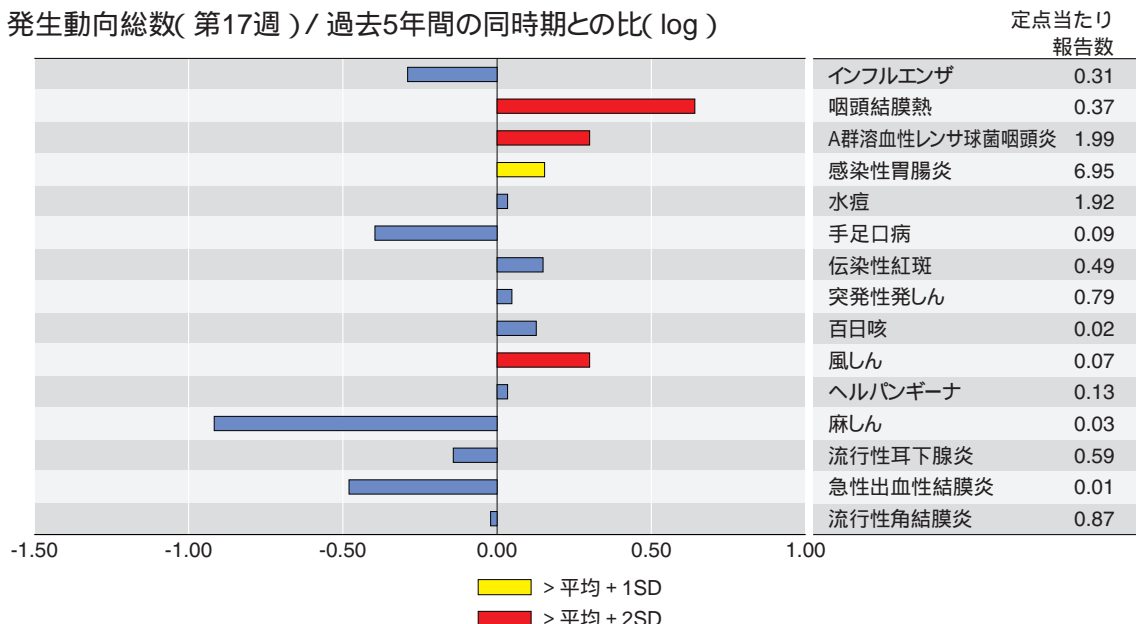
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 5例(推定感染地域: 国内1例、インド3例、マダガスカル1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: インド/バングラデシュ)
パラチフス 6例(推定感染地域: インド3例、ネパール2例、インド/バングラデシュ1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 25例(うち有症者21例)
報告の多い都道府県: 東京都(3例)、愛知県(3例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(12例)、O157 VT2(6例)、O157 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、O26 VT1(1例)、その他(3例)
年齢: 10歳未満(15例)、10代(4例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)
- 4類感染症: オウム病 4例(推定感染源: インコ2例、不明2例)
レジオネラ症 4例(60歳、69歳、71歳、78歳)
A型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例、中国1例)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 4例(推定感染地域: 国内3例、サイパン/マレーシア/アフリカ1例)
ウイルス性肝炎 2例 B型1例(推定感染経路: 不明)
C型1例(推定感染経路: 刺青)
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(とともに孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(68歳 死亡)
後天性免疫不全症候群 13例(無症候8例、AIDS 4例、その他1例)
推定感染経路: 性的接触11例(異性間1例、同性間10例)、不明2例
推定感染地域: 国内11例、タイ1例、ウガンダ1例
ジアルジア症 2例(推定感染地域: とともに国内)
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(16歳)
梅毒 5例(早期顕症1期3例、晩期顕症1例、無症候1例)
破傷風 1例(43歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanB 1例)
菌検出検体: 尿)
急性脳炎 1例(病原体不明(6歳))
(補)他に、ウイルス性肝炎2例、梅毒2例、破傷風1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染地域: 中国)、先天性風しん症候群1例(岡山県)、急性脳炎2例(単純ヘルペスウイルス1例(75歳)、病原体不明1例(30歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第17週) / 過去5年間の同時期との比(log)

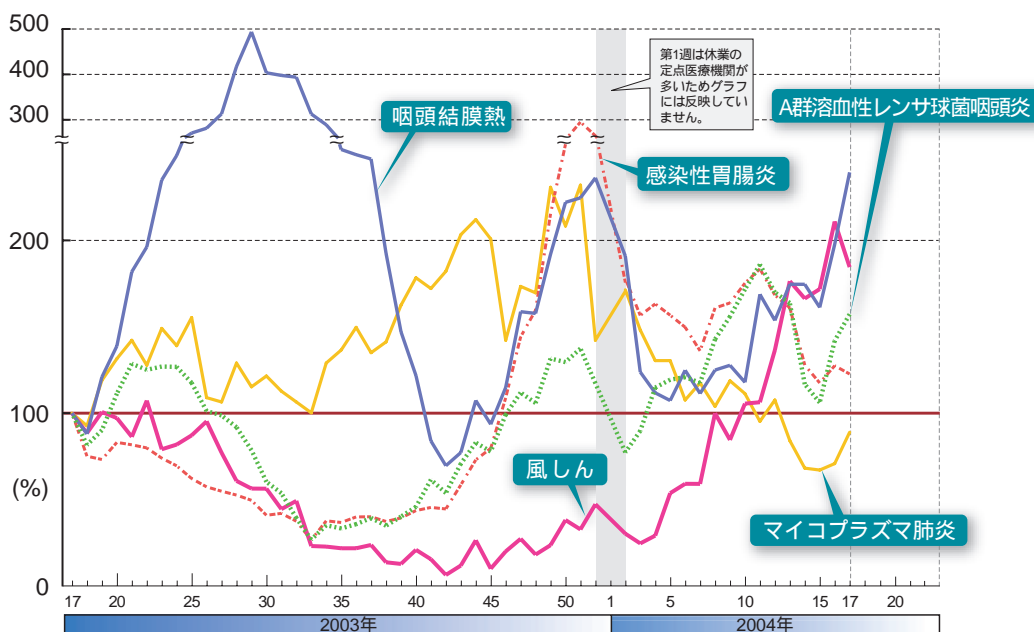


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(1.8)、福井県(1.1)、岐阜県(1.1)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第11週に過去10年間で最高の値となった後減少したが、第16週に再び増加し、第17週も増加した。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では新潟県(5.0)、山形県(4.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(25.3)、富山県(15.8)、鳥取県(15.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では沖縄県(0.8)、石川県(0.4)、兵庫県(0.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では千葉県(1.2)、新潟県(1.1)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では群馬県(0.4)、大分県(0.3)、栃木県(0.2)、福岡県(0.2)、鹿児島県(0.2)が多い(「注目すべき感染症」参照)。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増し、都道府県別では熊本県(0.9)、石川県(0.5)、和歌山県(0.5)、広島県(0.5)が多い。RSウイルス感染症の報告数は、35都道府県から合計42例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加して0.15で、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山梨県(0.8)、宮城県(0.6)が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第17週)



2003年第17週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



注目すべき感染症

風しんおよび先天性風しん症候群

< 風しんの発生状況 >

風しんの発生動向は、感染症法に基づき、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から毎週報告される患者数により把握されている。ここ数年、その報告数はかなり少なく推移していたが、本年は増加が認められており、第17週までの累積報告数は1,899人〔昨年1年間の累積報告数は2,795人(暫定値)〕である。第17週までの累積定点当たり報告数を都道府県別に見ると、群馬県、大分県、鹿児島県(＊)で特に多く、栃木県、埼玉県、宮城県、福岡県などでも多い。

第17週の全国からの報告数は203人(第16週232人)、定点当たり報告数は0.07(第16週0.08)であり、都道府県別では、群馬県(0.4)、大分県(0.3)、栃木県(0.2)、福岡県(0.2)、鹿児島県(0.2)が多かった。

< 先天性風しん症候群の発生状況 >

妊婦が妊娠初期に感染すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)を起こすことがある。CRSは感音性難聴、白内障または緑内障、心疾患が3主徴で、妊娠16週までの感染で起こることが殆どである。CRSは1999年4月の感染症法の施行により、全数把握疾患となった。1999年には報告がなく、2000～2003年は各1例であったが、本年は既に3例が報告されている(表)。

風しんの罹患歴や予防接種歴がない妊娠可能年齢の女性は、妊娠する以前に予防接種を受けておくことが必要である。予防接種は、風しんとCRSを予防するための最大的手段と言える。しかし稀には、罹患歴や予防接種歴がある場合でも十分な免疫が獲得されていないこともあるので、場合により抗体検査を行なうことも必要と考える。

また、妊婦の風しん罹患を防止するためには、社会での風しんの流行そのものを抑制することが必要である。そのためには、定期接種の対象者だけでなく、2003年9月まで行なわれた経過措置の対象年齢層(1979年4月2日～1987年10月1日生まれの者)を中心に、男女ともに免疫のない人々は任意接種を受けることが強く望まれる。

さらに、小児科ばかりでなく、特に妊婦や妊娠年齢の女性の管理を行う産科や婦人科、内科においては、地域での風しんの流行状況などに細心の注意を払う必要がある。

表：先天性風しん症候群の報告

報告年	都道府県	性別	母の予防接種歴
2000	大阪	女	なし
2001	宮崎	女	不明
2002	岡山	男	不明
2003	広島	女	なし
2004	岡山	女	不明
	東京	女	不明
	岡山	女	あり

(注)通巻第6巻第9号「注目すべき感染症」に掲載した表には一部誤りがありましたので、表全体を削除しました。

(＊)速報として「風疹の流行に対する県型保健所の対策(徳之島保健所)」があります。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年5月7日現在報告分)

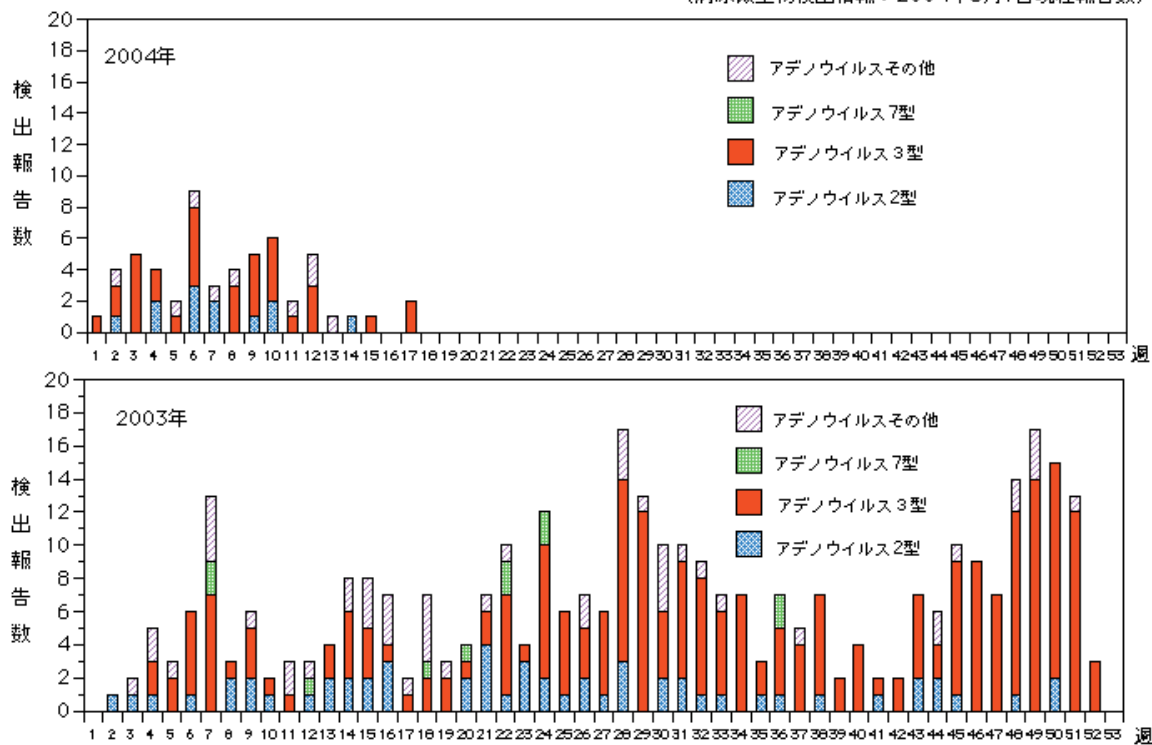
咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年

例年分離されるアデノウイルスは夏季に増加するが、昨年(2003年)は夏のピークを過ぎた後、10月末頃より冬季に再びアデノウイルス3型(Ad3)の増加がみられた。

2004年は年初よりAd3の報告が目立っており、これまでに35件(宮城県7、広島県6、長野県4、千葉県、兵庫県各3など)が報告されている。次いでAd2が12件(高知県3、静岡県、愛知県、兵庫県、広島県各2、島根県1)、Ad1が4件(広島県4)、Ad4が2件(宮城県、愛知県各1)、Ad5が2件(広島県、福岡県各1)、Ad6が1件(福岡県1)報告されている。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2003年～2004年

(病原微生物検出情報: 2004年5月7日現在報告数)



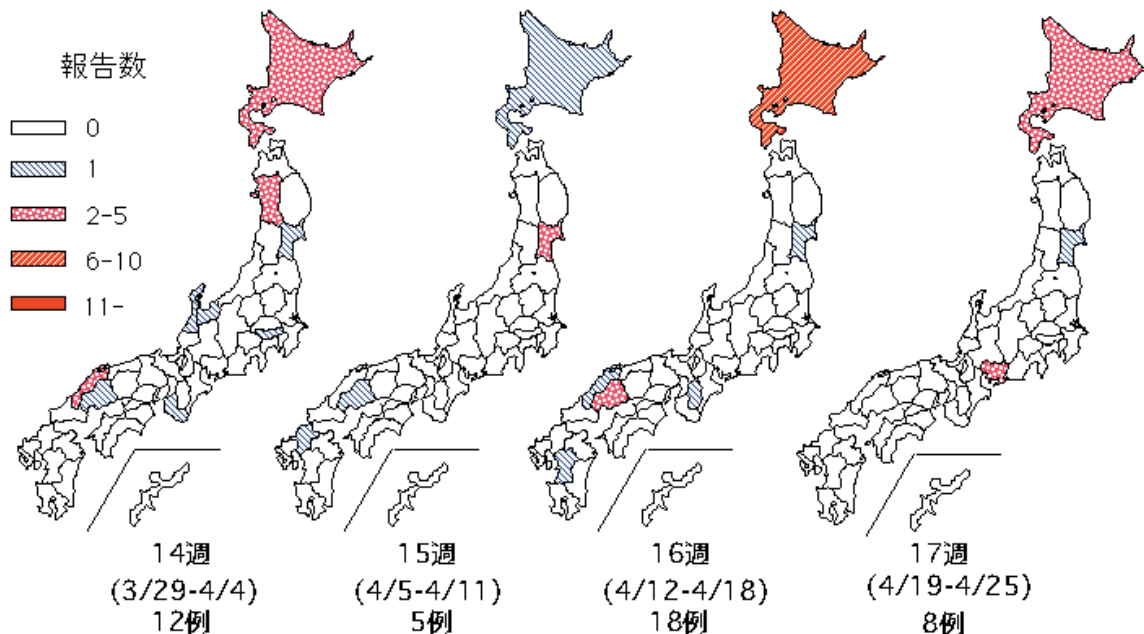
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



インフルエンザウイルス 2004年第14週(3/29～)以降

第14週以降第17週までの週別報告数は、AH3型が9、0、3、0、B型が12、5、18、8で、B型がAH3型を上回り、依然分離報告が続いている。AH3型は新潟県4、北海道3、島根県2、高知県2、東京都1が報告されている。B型は北海道から16件(本号速報記事参照)と多くの分離が報告されており、次いで宮城県、愛知県、広島県各5、島根県3、秋田県2などから報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルスB型分離・検出報告状況、2003/04シーズン(第14週～第17週)
(病原微生物検出情報: 2004年5月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004年第14週(3/29～)以降

小型球形ウイルス(SRSV)、ロタウイルスともに検出報告数は減少している。第14週以降第17週までの週別検出報告数は、SRSVが22、8、7、0、ロタウイルスが9、9、6、0である。

SRSVは、ほとんどがノロウイルスgenogroup(G)IIの報告で23件(滋賀県10、千葉県4、熊本県4、愛媛県2、新潟県、岡山県、広島県各1)報告されている。このうち滋賀県からの検出は、6件が第14週に老人ホームで、4件が第15週に飲食店で発生した集団発生事例からの検出報告である。この他にノロウイルスGIが5件(岩手県5)、ノロウイルスG不明が9件(広島県5、熊本県2、東京都、新潟県各1)の報告である。

ロタウイルスの報告は24件(愛媛県8、奈良県5、岩手県、東京都、大阪府各2、秋田県、群馬県、島根県、高知県、熊本県各1)で、すべてA群である。

風疹の流行に対する県型保健所の対策 - 徳之島保健所

1 徳之島保健所の所管区域と定点医療機関

徳之島保健所は徳之島、沖永良部島及び与論島を管轄区域としている(図1)。このうち徳之島は鹿児島県鹿児島市の南約450kmに位置し、人口は島内3町あわせて約2万9千人である。

管内の小児科定点は全部で3医療機関(1病院、2診療所)であり、徳之島以外では沖永良部島の1診療所のみである。内科(インフルエンザ)定点は徳之島の2病院で、このうち1病院に病原体届出機関を依頼している。与論島には定点医療機関がない。

図1. 徳之島保健所の管轄地域

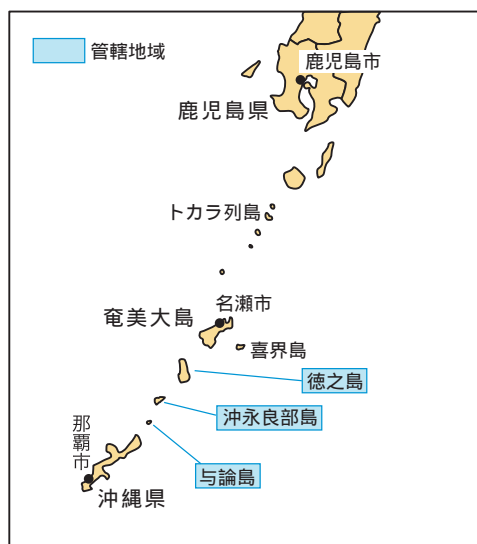


表1. 年代別・男女別の風疹報告数(徳之島島内分)

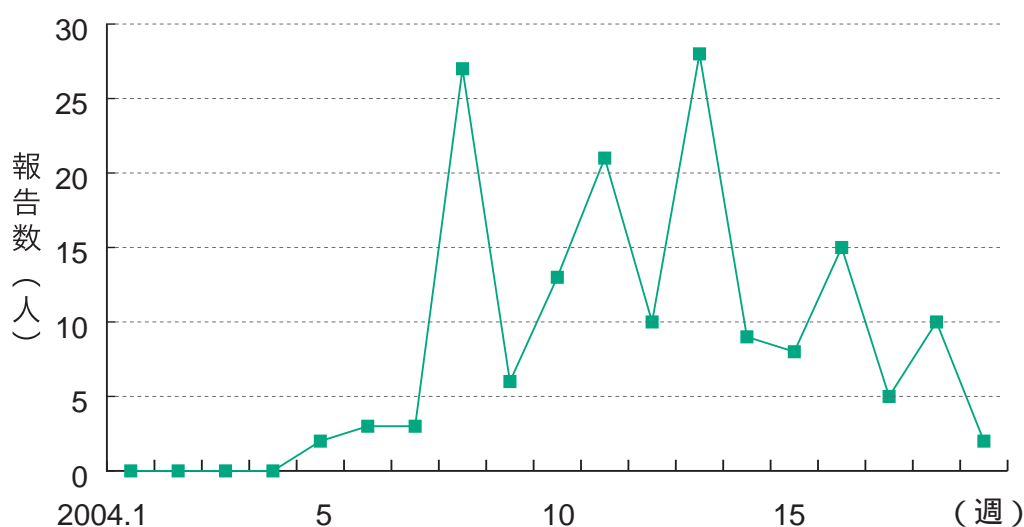
週	0～4歳		5～9歳		10～14歳		15～19歳		20歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
5									2	
6				1					2	
7									3	
8	1			1		2	2		14	7
9									4	2
10	1				1		1	1	6	3
11	2	2	1	4	2		1		7	2
12		1	1		1	2			3	2
13	2	2		2	2	1	1	3	11	4
14	2		1	1	1	1			2	1
15		2				1	1		3	1
16	2	1	2			2	1		5	2
17		2		2					1	
18	2		2		2	1	1		1	1
19		1							1	

2 徳之島における風疹の流行

徳之島島内2か所の小児科定点医療機関から報告された風疹症例数の推移を図2に、第5週から第17週までの年代別・男女別の報告数を表1に示す。

平成16年第5週から報告がみられはじめ、当初はその多くが成人男性の症例であったが、次第に女性や小児の症例も報告されるようになった。報告数は減少傾向にあるが、潜伏期間の長さからみてまだ予断は許さない。

図2. 徳之島島内小児科定点からの風疹報告



3 流行の把握と徳之島保健所としての方針

定点医療機関からの報告数が増加する以前に、定点以外の診療所から「風疹が疑われる成人男性症例4例の集積」について電話で相談を受けた。そのうち1名を診て臨床的に風疹と診断できたため、直ちに、流行に至った場合の対策について所内で検討を行った。

その結果、風疹の疾患特性に鑑み、徳之島保健所としては、短期的には「発生状況の把握と情報提供を通常と異なるなどの段階まで実施するか」ということ、中・長期的には「流行を予防接種率の向上にどうつなげるか」ということを考えながら対策をとっていくことが必要であると考えた。

4 これまでに行った対策

実施した順番に対策を示すと、 定点以外の病院・診療所からの情報収集、 医療機関、管内各町の保健福祉部局及び教育委員会への情報提供、 地元新聞への報道依頼、 臨時定点的医療機関の依頼である。このほかに、国立感染症研究所及び鹿児島県環境保健センター微生物部からの要請を受け、病原体届出機関に依頼し、臨時的に風疹ウイルスの検体採取を実施した。

発生状況の把握については、徳之島島内において定点以外の病院・診療所から定期的に情報収集を行ったほか、第11週に初めて沖永良部島の定点医療機関から2例の風疹の報告があったことを受けて、沖永良部島と与論島のそれぞれ1病院及び1診療所に新たに依頼し、受診した風疹症例全例の初診日、年齢、性別、町名、地区名、発熱・発疹・リンパ節腫脹の有無、妊娠・予防接種歴・風疹の既往の有無及び考えられる感染経路について報告を求める体制をとった。その後、幸いにも沖永良部島と与論島において流行はみられていない。

情報提供については、患者(及びその家族)、妊娠中の女性及び流行が広がりやすい集団の管理者等に対して重点的に行われる必要があると考えた。したがって、患者への医療及び妊婦検診の場としての医療機関、住民からの保健相談や妊娠届出の場としての保健センターや保育所を所管する町の保健福祉部局、学校や幼稚園を所管する教育委員会に情報提供を行った。一方、広く住民に対しても流行を周知し、注意を喚起するため、地元新聞各紙に報道を依頼した。

5 今後行っていくこと

今回の流行を踏まえて、これを予防接種率向上のために活かしていく必要がある。そのため、予防接種を実施・推進する関係者及び接種対象となる住民のそれぞれに今回の流行を周知し、幼児期の定期予防接種の重要性を啓発するとともに、特に若い世代の男女に対して、妊娠する前に風疹抗体を獲得しておく必要があることについて情報提供していくこととしている。

予防接種を実施・推進する関係者への周知・啓発については、今年度の早い時期に、各町の保健福祉課長を集めた会議及び町保健師の研修会、町担当職員、医療機関のスタッフ、保育所・幼稚園・学校及び各種施設の関係者を対象とした結核・感染症研修会が開催されるので、これらの機会を活用したい。

接種対象となる住民に対する直接の周知・啓発については、保健所に講師派遣の要請がある育児講座、卒業前の高校生への健康教育等の機会を活用したい。なお、婚姻届を受け付ける際に、保健所からの情報提供として資料を配付していただくことも考えられるので、町の戸籍担当部局との連携等についても検討していきたい。

鹿児島県徳之島保健所長
相星 壮吾

2003/04シーズンのB型インフルエンザウイルス分離状況 - 札幌市

札幌市における2003/04シーズンのインフルエンザの流行は、2月中旬をピークとして4月上旬にはほぼ終息しつつある。感染症発生動向調査定点医療機関からの咽頭ぬぐい液等からは、主にAH3型ウイルスが分離されており、B型ウイルスの分離数は少なかったが、3月上旬以降はB型ウイルスが継続的に分離され、4月中旬には分離数が増加したので、その概要について報告する。

患者報告数: 2003年第47週(11月中～下旬)に初めて患者の報告があり、第51週には流行開始の指標とされる定点当たり報告数が1を超え、2004年第7週(2月中旬)がピークとなり、その後は減少して第14週(4月上旬)からは1以下となった。

ウイルス分離状況: 市内医療機関(小児科10定点、内科4定点)を受診した患者から採取された咽頭ぬぐい液等を検査材料として、ウイルス分離を行った。検査材料をMDCK細胞に接種してCPEが確認された培養液について、0.75%モルモット赤血球を用いてHA試験を行い、国立感染症研究所より分与された2003/04シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを用いて、HI試験を行った。

今シーズンは、11月20日(第47週)に採取された咽頭ぬぐい液からAH3型が初めて分離された後、AH3型の分離数が増加して2004年第6週がピークとなった。一方、B型ウイルスは12月19日(第51週)に採取された咽頭ぬぐい液から初めて分離され、その後大幅な増加はなかったが、第16週には11株分離され、4月末までに合計39株分離されている。

これらのB型分離株は、抗A/Moscow/13/98(H1N1)(ホモ価1,280)、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)(ホモ価320)、抗A/Panama/2007/99(H3N2)(ホモ価1,280)、抗A/Kumamoto(熊本)102/2002(H3N2)(ホモ価1,280)、および抗B/Shandong(山東)7/97(ホモ価80)各フェレット感染血清にはいずれもHI価<10を示したが、抗B/Johannesburg/5/99羊高度免疫血清(ホモ価1,280)に対しては1株を除き、HI価640～2,560を示した。2月21日採取の鼻汁から分離された1株については、HI価は20であった。

札幌市における2000/01シーズン以降のインフルエンザ流行状況は、AH3型とB型の、あるいはさらにAH1型を加えた混合流行であり、シーズン前半はA型が、後半はB型が主流となっており、6月までB型が分離されることがあった。現在までのところ、2003/04シーズンも同様に、後半にB型が流行する傾向がみられる。また市内医療機関からは、第16週にインフルエンザ様疾患の患者が若干増えたとの情報があり、今後の動向に注意が必要である。

札幌市衛生研究所

菊地正幸 宮北佳恵 吉田靖宏 土屋英保 大川一美 藤田晃三

(IASR2004年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

中国でのSARS患者発生について

情報源: WHO/CSR 更新5 2004年4月30日

中国当局は、以前報告されていた別の患者1名でSARS感染を確認。

< 現在までの要約 >

中国当局は本日(4月30日)、4月19日に安徽省で死亡した53歳女性がSARSコロナウイルスに感染していたことが検査により確認された、と報告した。この女性は、北京の国立ウイルス学研究所で研究に従事していた26歳大学院生の母親で、医師であった。学生は安徽省の病院に入院中である。

4月22日に最初の患者が報告されて以降、中国当局は5名の患者でSARS診断を確定した(以下の要約参照)。SARS様症状を呈し、既知の患者との密接な接触歴を持つ別の患者4名についても、検査が継続されている。

4月22日以降、感染リスクを低減させる戦略として、北京の患者7名は地壇(Ditan)病院に集められ、隔離治療されている。

流行感染源の調査は現在、国立ウイルス学研究所でバイオセーフティーの操作が適切に行われていなかったことに焦点が当てられている。研究所は4月23日に閉鎖され、研究所スタッフは隔離下に置かれた。

< 患者要約 >

現在までに三次感染までの感染が確認され、患者9名が発生している。

一次感染: 初発患者は安徽省出身の26歳大学院生(女性)である。この患者は北京の国立ウイルス学研究所で、2004年3月7～22日の間働いていた。この研究所では、感染性のあるSARSコロナウイルスを用いた研究を実施していることが知られている。この患者は3月25日安徽省で発症した。症状の発症後、安徽省から北京へと、北京から安徽省への帰路の2回列車で移動した。この患者のSARS感染は中国衛生省により確定されている。現在、安徽省で入院隔離されている。

実験室感染源から感染した可能性のある2例目の患者は、同じウイルス学研究所の31歳男性研究者である。この患者は4月17日に発症した。現在、北京の地壇病院にて隔離下で治療されている。この症例に関連した他の患者は報告されていない。(二次感染を来たしていない)。

二次感染: 二次感染を来たした患者2名は、いずれも大学院生との密接な接触をもっていた。これらの患者のうちの一は初発患者の母親の53歳女性で、本日、中国当局によりSARSコロナウイルス感染が確認された。この患者は現在までのところ、今回の流行における唯一の死亡者である。2例目は、大学院生の初回入院中に、3月29日から4月2日まで治療に当たった北京の20歳看護師である。この看護師のSARS感染は中国衛生省により確認された。彼女は北京のDitan病院で、隔離下で治療されている。

三次感染者: さらに5名の患者は、いずれも看護師との密接な接触に関連している。3名は親族である。この看護師の父親、母親、叔母で、年齢はそれぞれ45歳、44歳、36歳である。母親と叔母のSARS感染は中国衛生省により確定されている。この看護師に関連した4例目の患者は、別の病気のために入院し、看護師と同室した元医師の49歳女性である。入院時にこの女性医師に付き添っていた23歳の義理の娘が、5例目の患者である。2名の女性は病院入院から1週間を過ぎてからSARS様症状を発症したため、両名とも、看護師との密接な接触から感染したと考えられる。患者5名全員が、地壇病院で隔離下に治療を受けている。

情報源: WHO/SARS 更新6 2004年5月5日

2004年4月22日に初めて報告された今回のSARS流行の感染源調査は、北京にある国立ウイルス学研究所に焦点を当てて継続されている。この研究所では、2004年2～3月の間、生きたSARSコロナウイルスを用いた実験を実施していたことが判明している。

同研究所の研究者2名が、3月下旬と4月中旬にSARSを発病した。しかし両者共に、感染性のあるウイルスを用いた研究を実施していたかどうかは不明で、研究室内の他の感染源、あるいはその他の場所が感染源である可能性も否定できない。

WHO-中国合同調査チームのメンバーは完全な感染防御衣を着用し、4月30日と5月4日に同研究所に入った。予備的な調査結果では、研究者2名の感染を説明できるような、単一の感染源や単一の操作の誤りは見つからず、調査は難航することが予想された。

感染源を特定し、同研究所内の条件、設備、バイオセーフティの問題のため、今後研究者がSARS感染の危険性を被ることがないようにするため、調査の継続が求められる。同研究所内の様々な場所から多数の検体が中国人調査官により採取された。これらの検体は、香港にあるWHO SARS研究室で解析中である。

WHOは、実験室内感染の危険性を最小限にするため、感染性のあるSARSウイルスを用いた実験はバイオセーフティレベル3の施設で行うよう、強く勧告している。この研究所内で感染性のあるウイルスを用いた研究が、保管、運営上の管理、実験操作、研究員の個人的な感染防御、実験室に入室できるスタッフ全員の認可と監視といった、ウイルスの物理学的な封じ込めのための厳密な要求を完全に満たしていたかどうかを確認するため、研究所内のさらなる調査が必要である。

国立ウイルス学研究所は2004年4月23日に閉鎖され、そのスタッフの大部分が医療監視下に置かれた。しかし、少数のスタッフは重要な実験を継続したり、実験動物の世話のため施設内に留まっている。

(SARSに関する最新情報は、感染症情報センターのホームページ<http://idsc.nih.go.jp/others/sars/index.html>を参照してください)

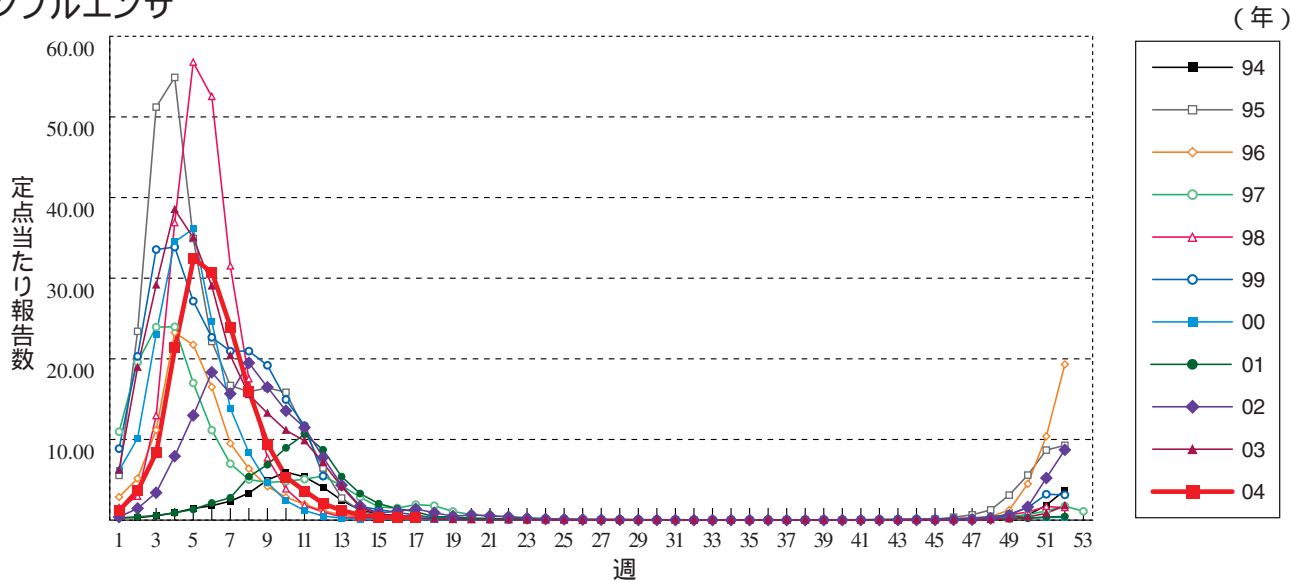


感染症の話

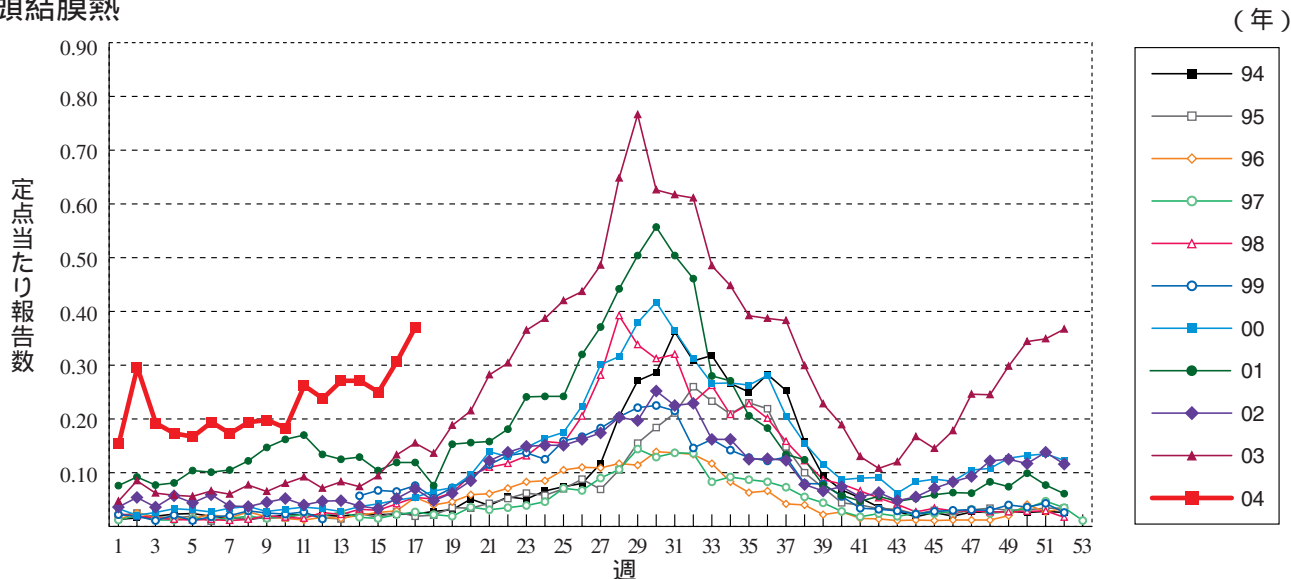
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(17週)

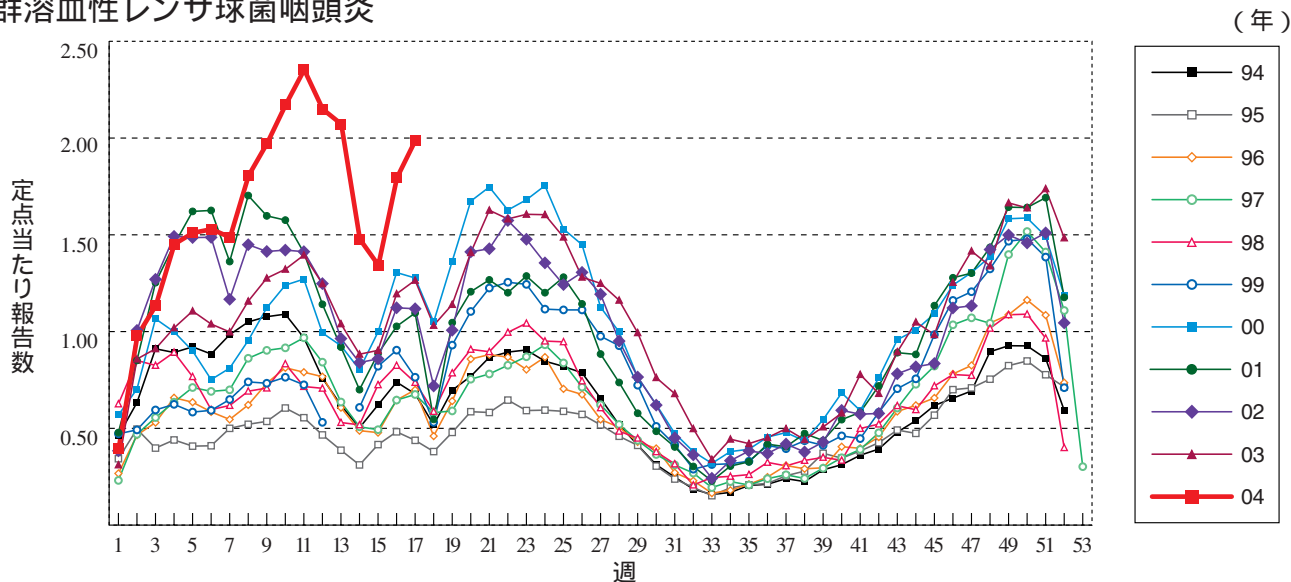
インフルエンザ



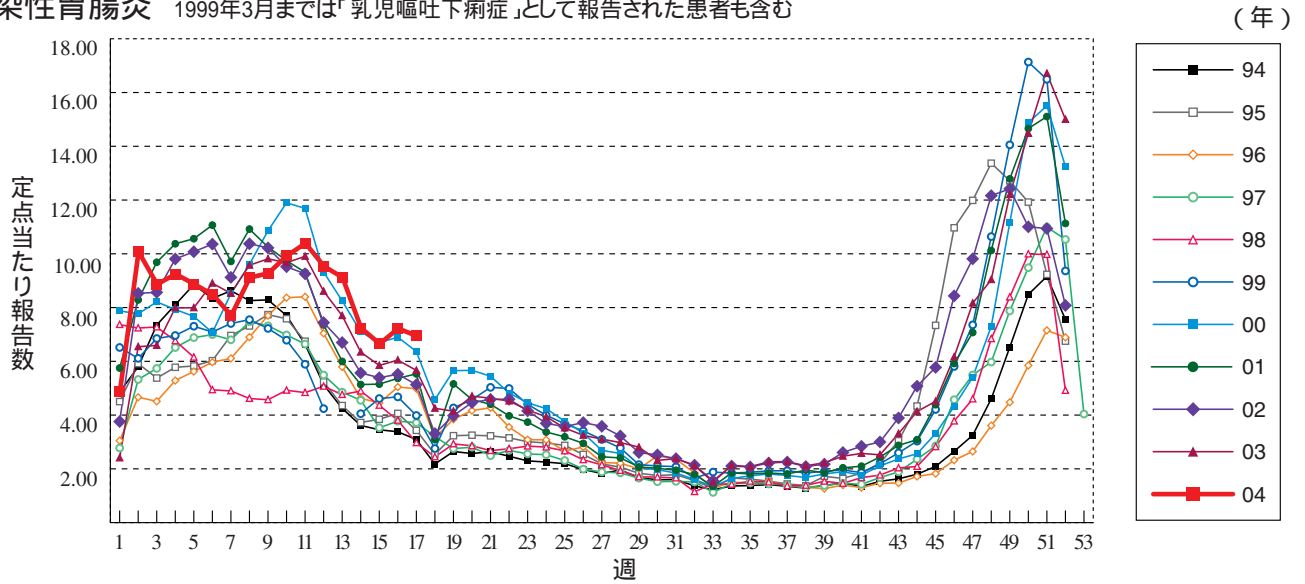
咽頭結膜熱



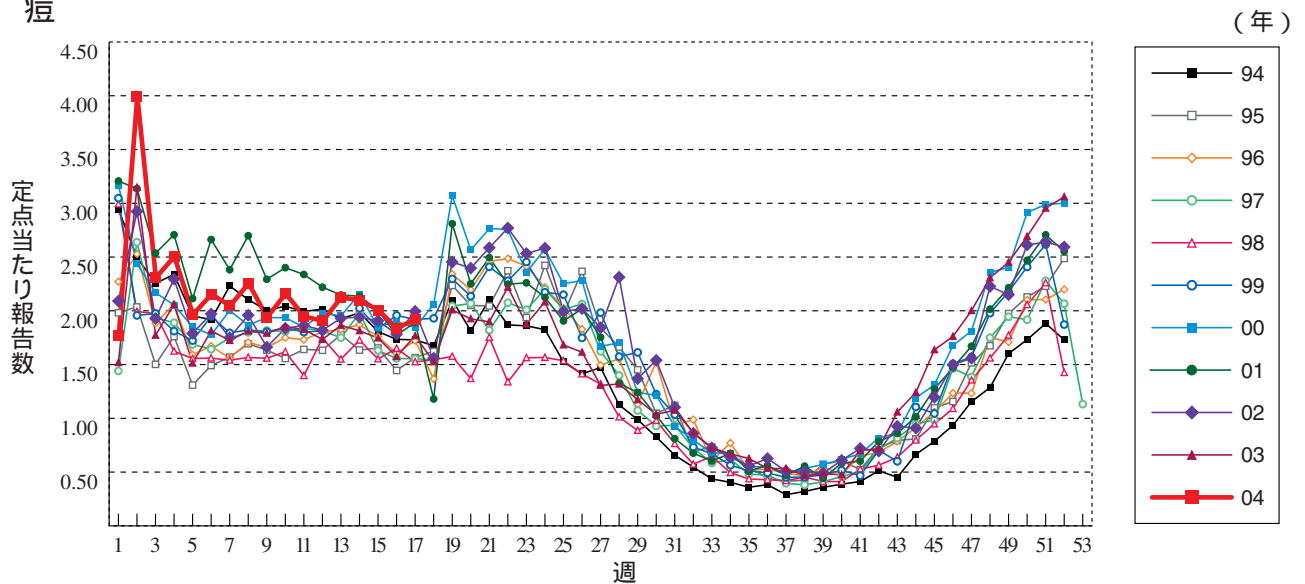
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



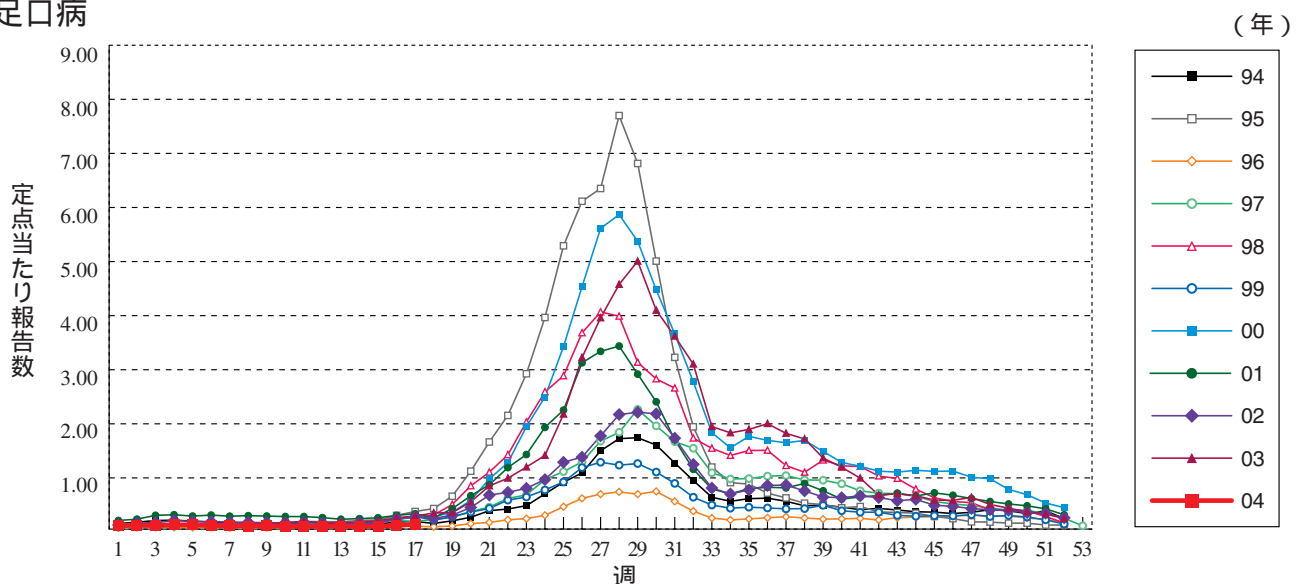
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



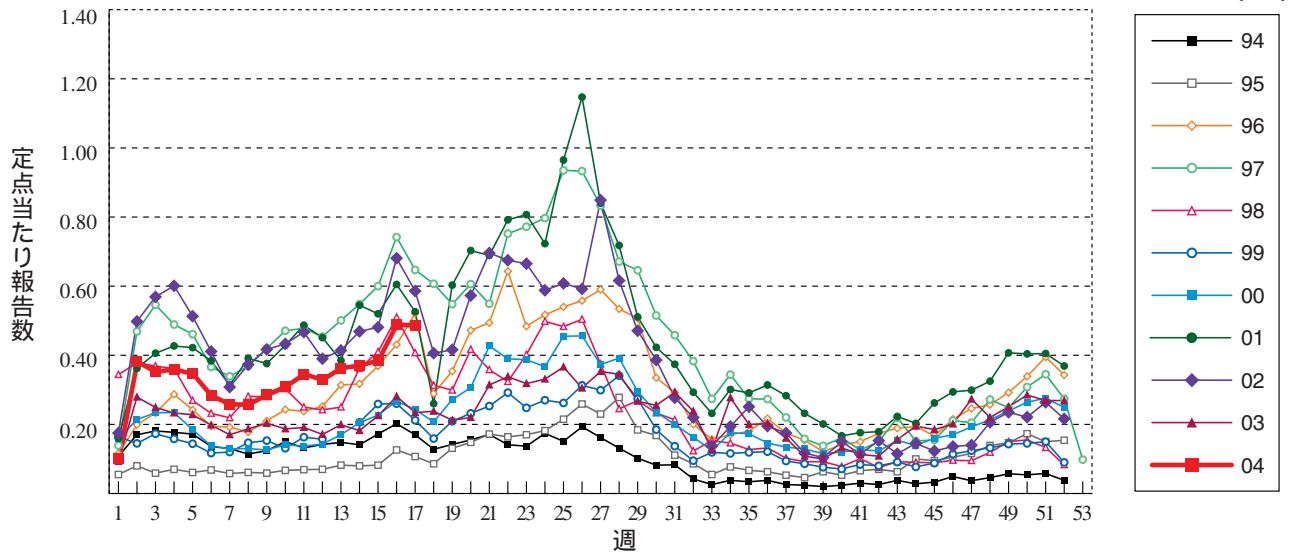
水痘



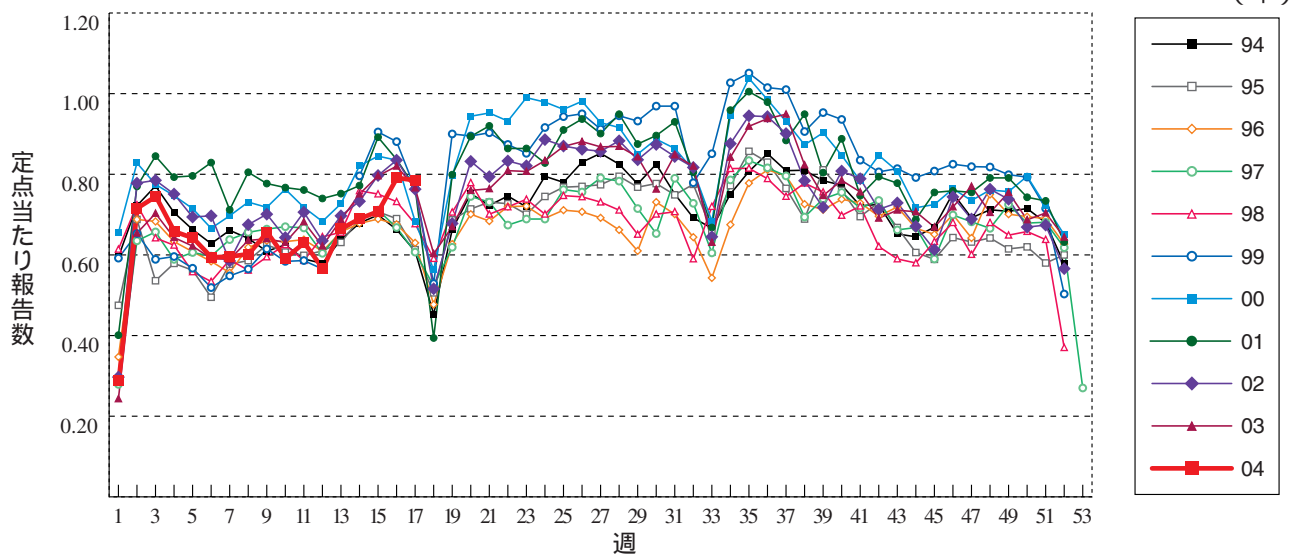
手足口病



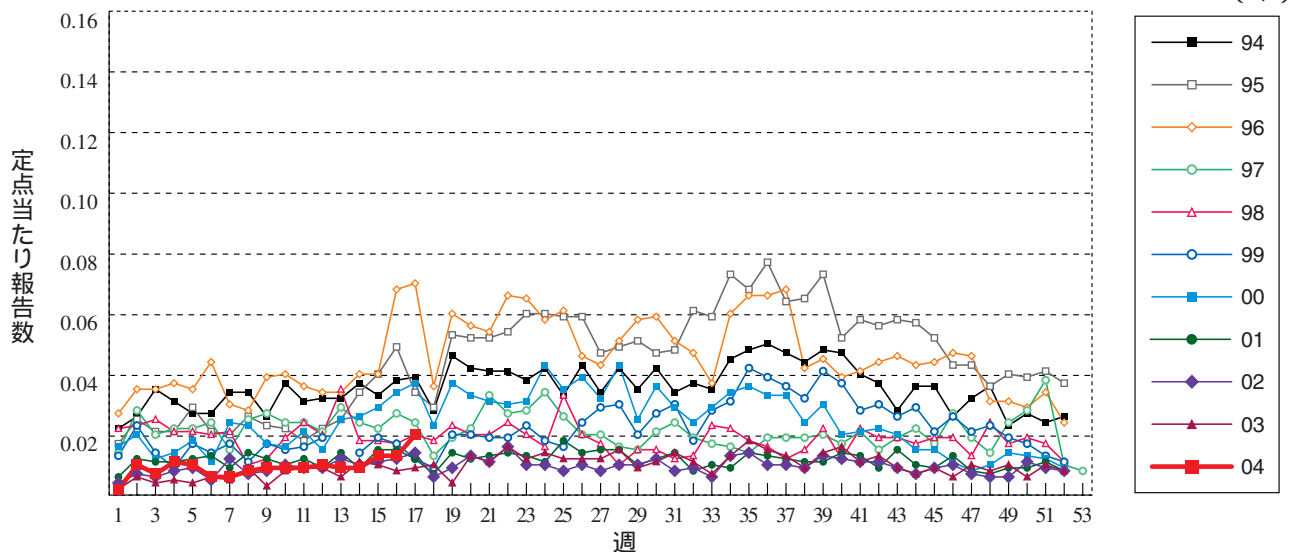
伝染性紅斑



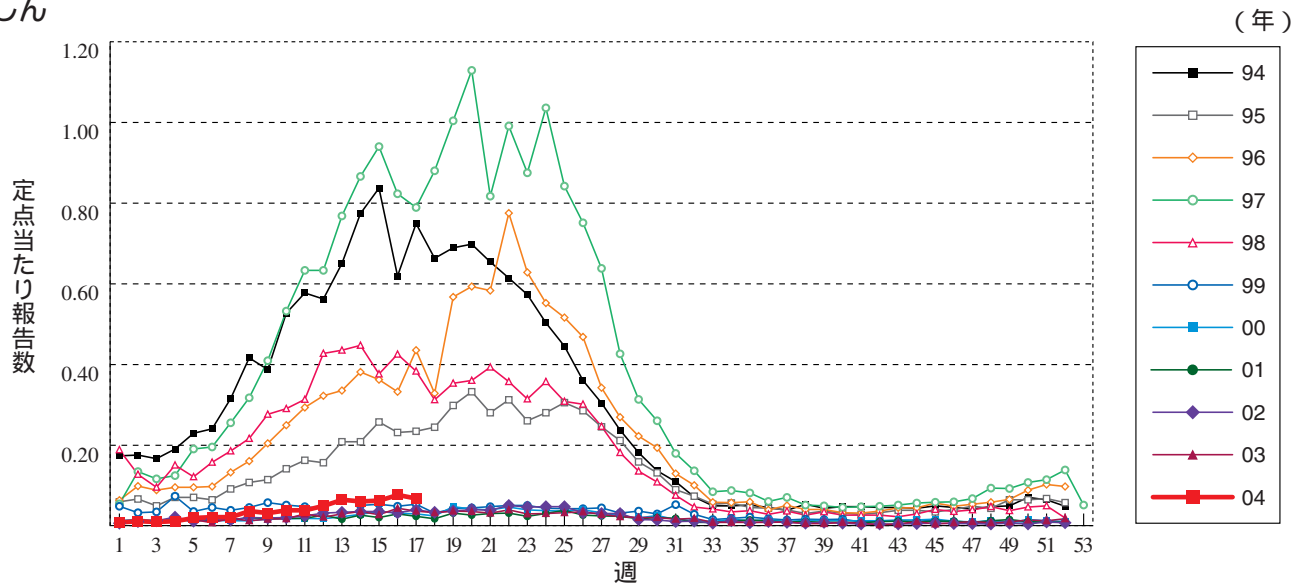
突発性発しん



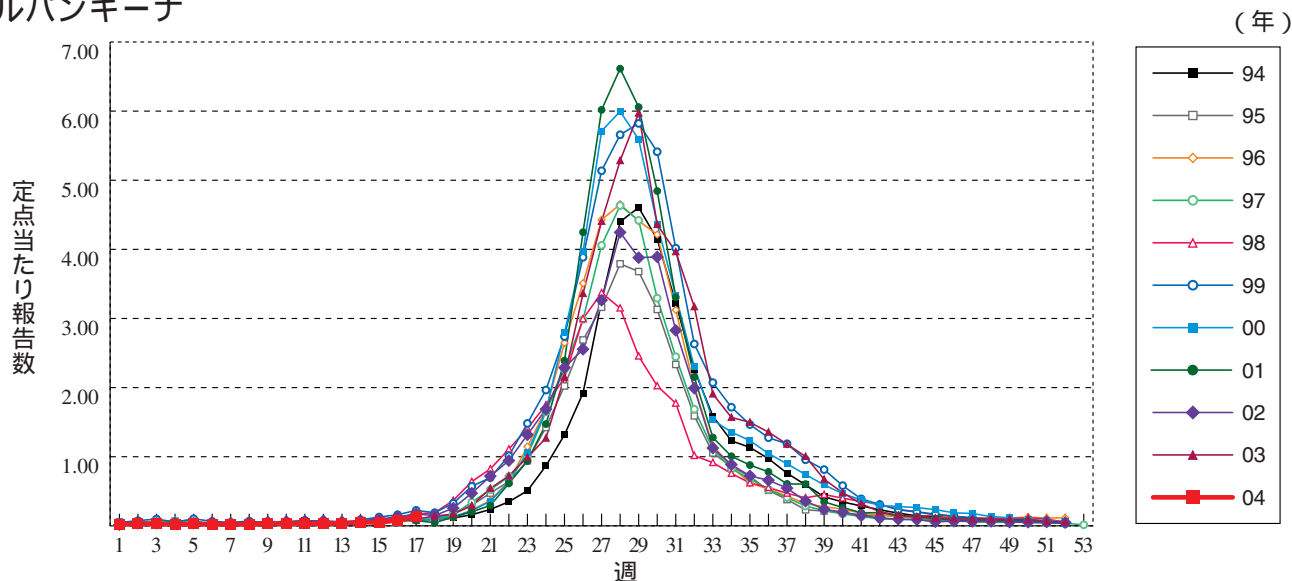
百日咳



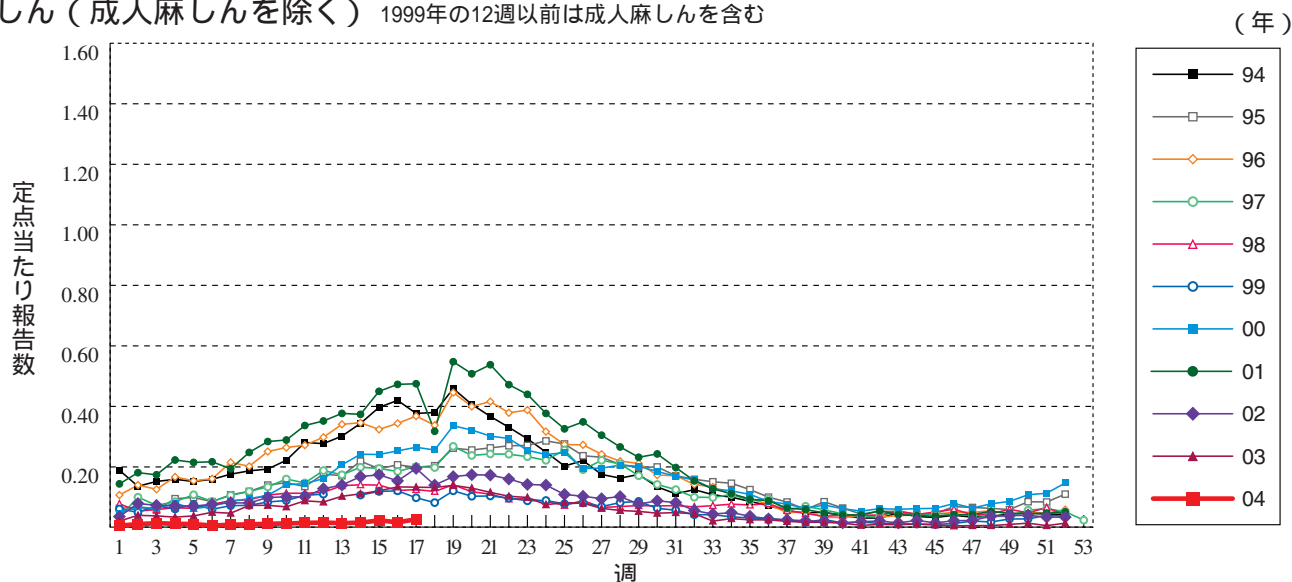
風しん



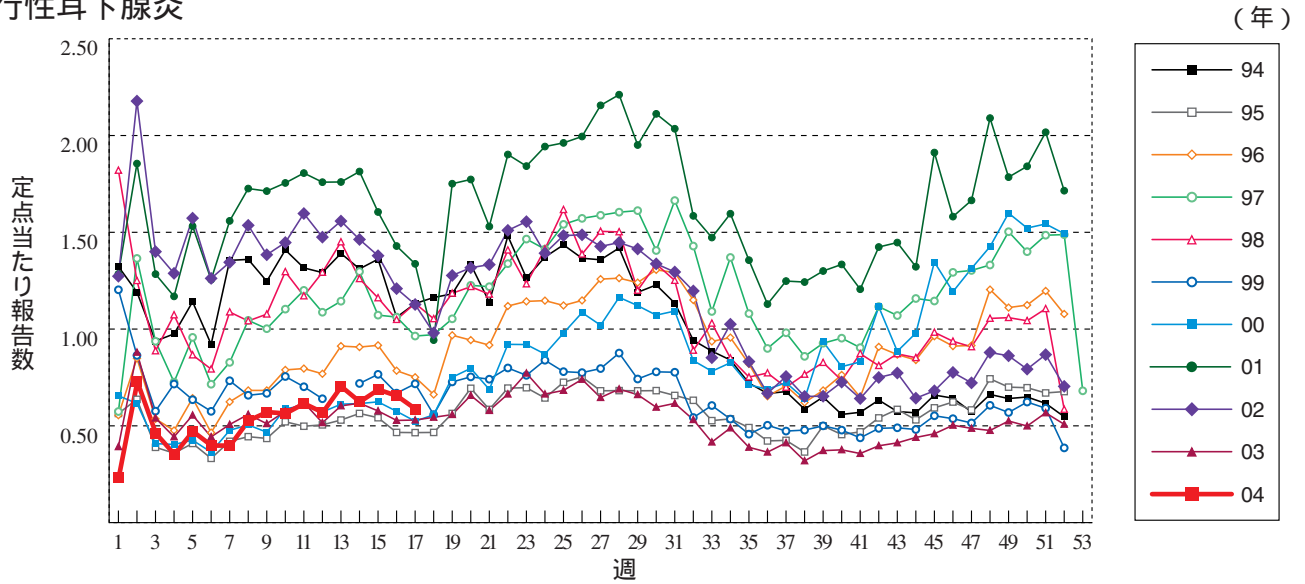
ヘルパンギーナ



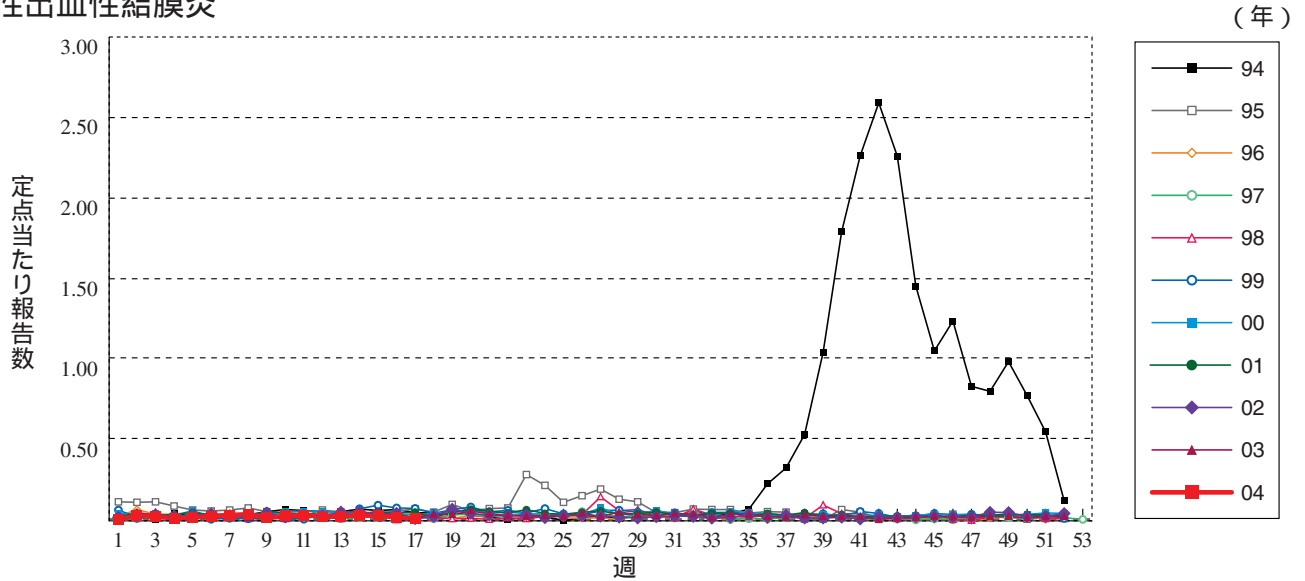
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



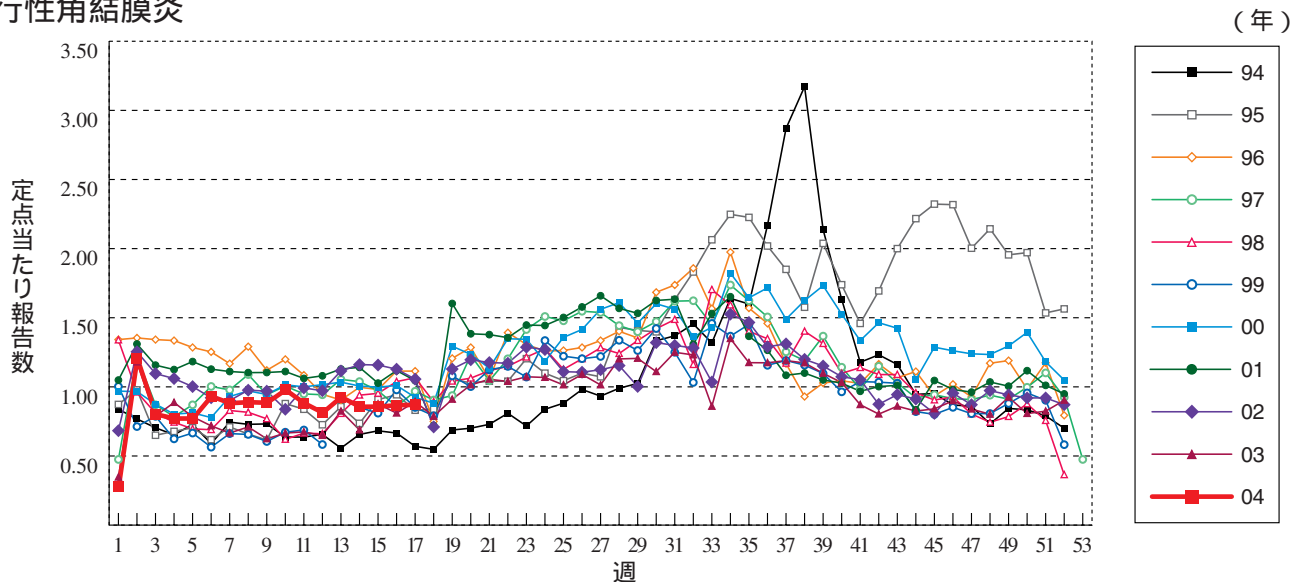
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

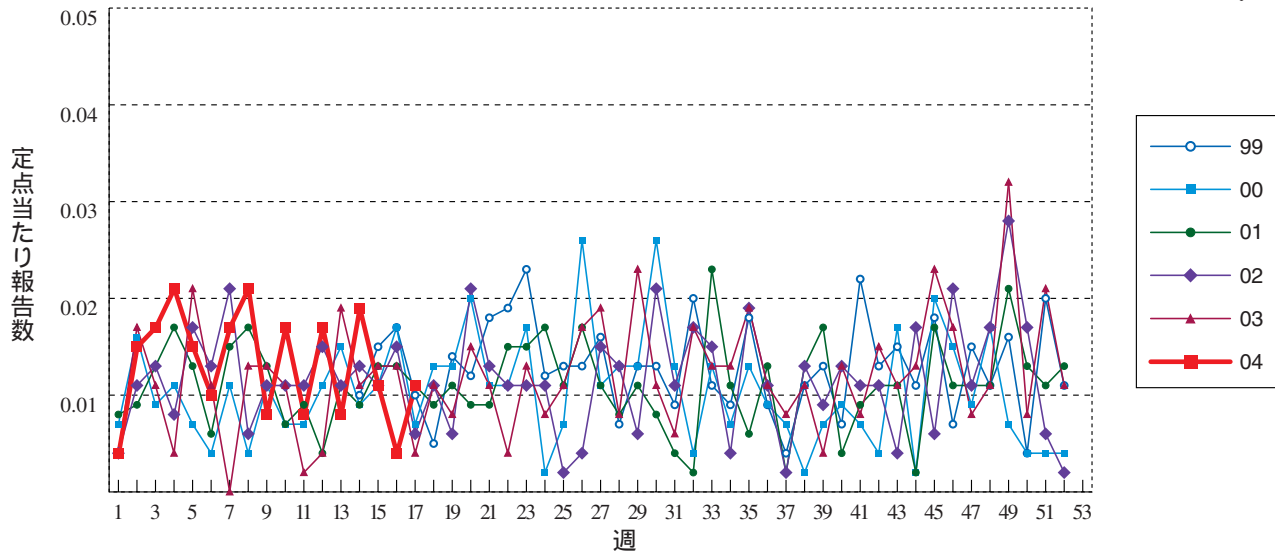


流行性角結膜炎



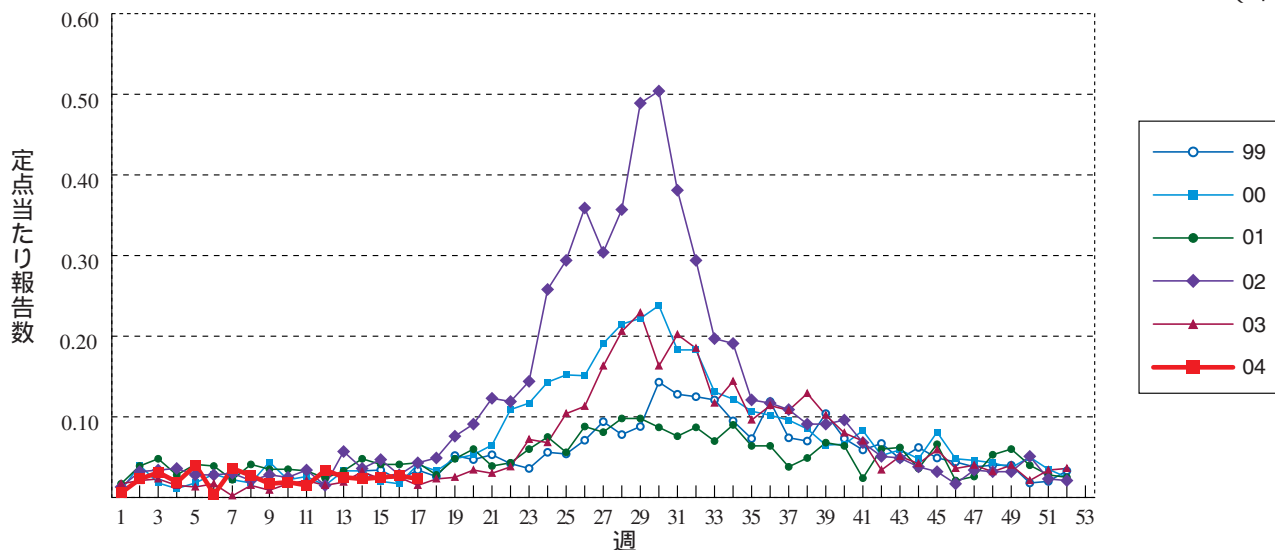
細菌性髄膜炎

(年)



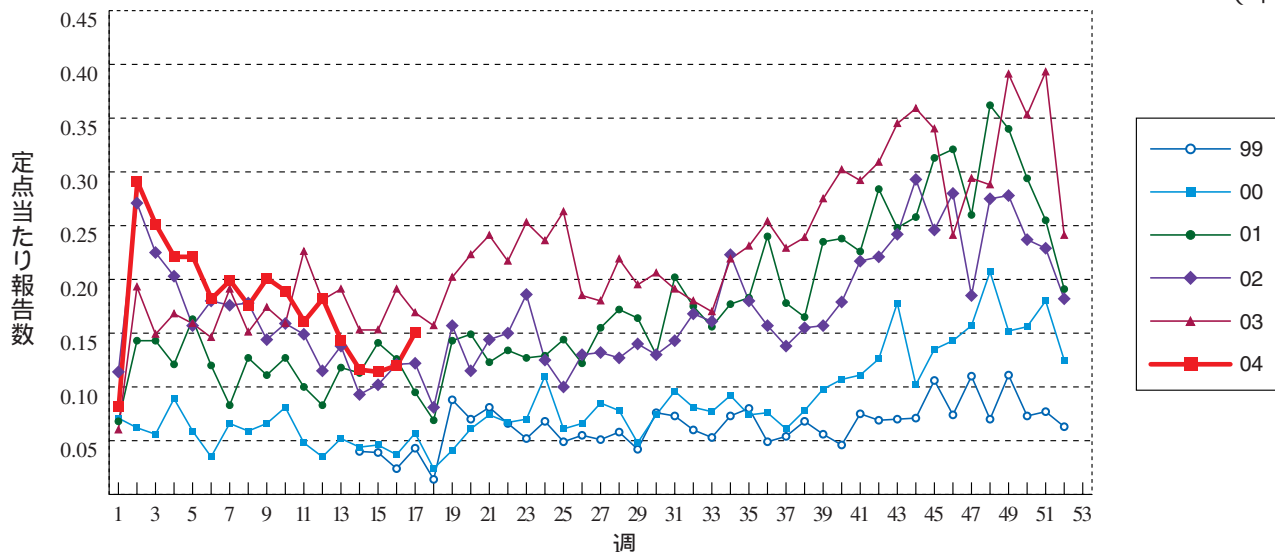
無菌性髄膜炎

(年)



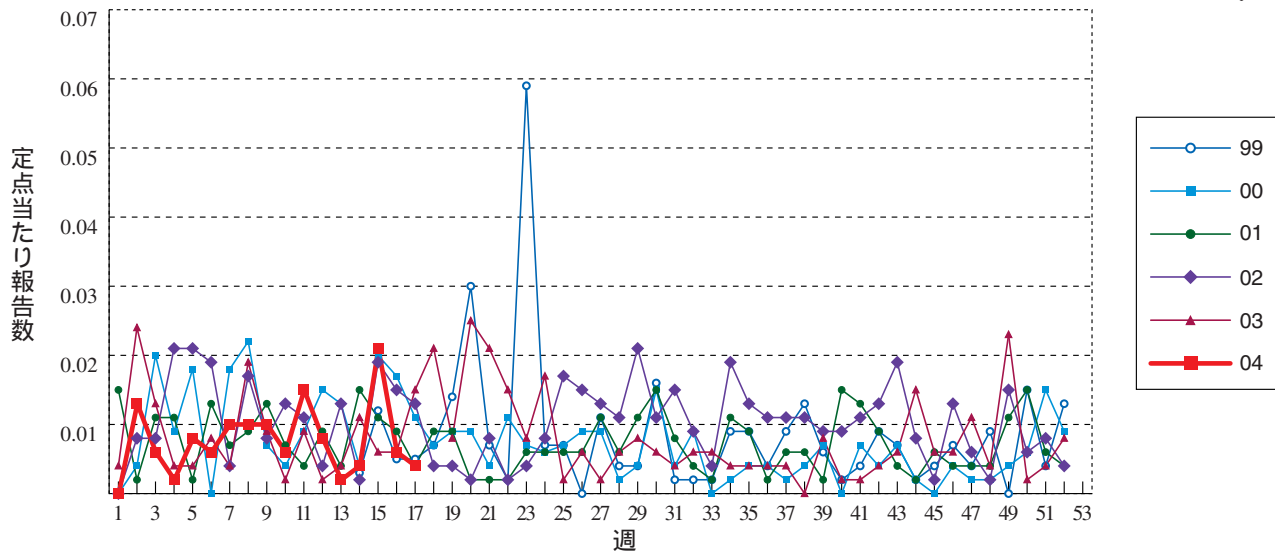
マイコプラズマ肺炎

(年)



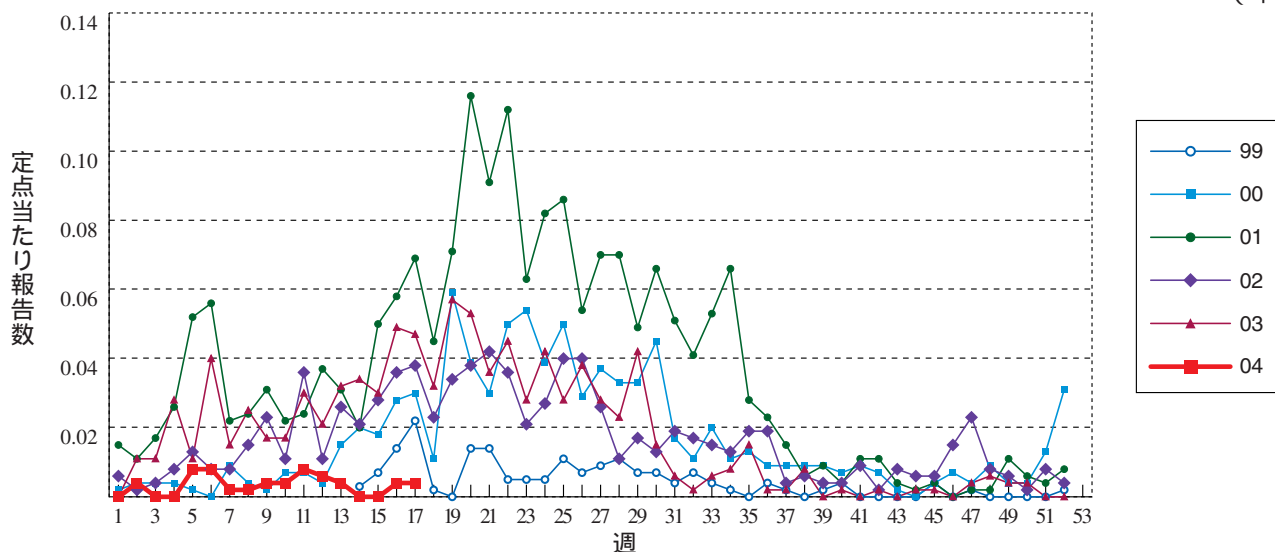
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





17週のデータ

注)表中の報告数は4月30日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年17週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	122	1	12	6	15	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	3	3	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	36	1	2	-	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	2	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	2	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	25	207	4	174	-	12	-	-	4	11	-	-	4	86
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	12	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	9	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	1	7	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	3	23	1	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	3	8	1	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
大阪府	-	-	-	-	1	20	-	16	-	-	-	-	2	3	-	-	2	11
兵庫県	-	-	-	-	2	6	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	1	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	2	3	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	1	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	2	52	1	17	13	297	-	1	2	24	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	8	125	-	-	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	20	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	1	33	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	10	-	3	-	-	-	58	-	5	-	2	-	1	7	146	2	16
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
東京都	-	2	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	1	20	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	10	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	2	4	30
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	8	-	-	-	56	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	22	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年17週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1471	0.31	1130	0.37	6052	1.99	21134	6.95	5851	1.92	274	0.09	1477	0.49	2389	0.79	61	0.02
北海道	166	0.73	48	0.34	364	2.55	641	4.48	218	1.52	13	0.09	52	0.36	87	0.61	1	0.01
青森県	14	0.22	33	0.79	83	1.98	239	5.69	94	2.24	3	0.07	14	0.33	22	0.52	-	-
岩手県	2	0.03	4	0.11	73	1.92	127	3.34	57	1.50	1	0.03	13	0.34	21	0.55	-	-
宮城県	11	0.12	13	0.22	220	3.73	454	7.69	95	1.61	2	0.03	51	0.86	63	1.07	-	-
秋田県	34	0.62	13	0.37	112	3.20	350	10.00	44	1.26	3	0.09	-	-	23	0.66	-	-
山形県	11	0.23	17	0.57	146	4.87	283	9.43	33	1.10	-	-	24	0.80	27	0.90	2	0.07
福島県	30	0.38	29	0.60	107	2.23	481	10.02	65	1.35	1	0.02	5	0.10	53	1.10	2	0.04
茨城県	3	0.03	18	0.24	341	4.61	320	4.32	109	1.47	3	0.04	4	0.05	37	0.50	-	-
栃木県	1	0.01	1	0.02	73	1.59	191	4.15	76	1.65	1	0.02	8	0.17	31	0.67	-	-
群馬県	3	0.03	6	0.10	98	1.58	316	5.10	60	0.97	1	0.02	41	0.66	50	0.81	1	0.02
埼玉県	4	0.02	34	0.22	415	2.64	942	6.00	284	1.81	9	0.06	129	0.82	146	0.93	1	0.01
千葉県	10	0.05	46	0.35	352	2.67	798	6.05	365	2.77	12	0.09	157	1.19	109	0.83	2	0.02
東京都	8	0.04	22	0.15	204	1.44	702	4.94	157	1.11	9	0.06	107	0.75	85	0.60	-	-
神奈川県	8	0.02	107	0.52	394	1.91	1193	5.79	381	1.85	5	0.02	192	0.93	188	0.91	2	0.01
新潟県	10	0.10	42	0.70	299	4.98	777	12.95	111	1.85	3	0.05	68	1.13	37	0.62	4	0.07
富山県	2	0.04	29	1.00	109	3.76	458	15.79	112	3.86	-	-	19	0.66	25	0.86	1	0.03
石川県	19	0.40	19	0.66	71	2.45	440	15.17	89	3.07	12	0.41	28	0.97	21	0.72	-	-
福井県	10	0.31	25	1.14	84	3.82	556	25.27	92	4.18	2	0.09	21	0.95	8	0.36	5	0.23
山梨県	3	0.07	-	-	87	3.48	95	3.80	27	1.08	-	-	5	0.20	7	0.28	-	-
長野県	87	1.00	-	-	98	1.78	516	9.38	91	1.65	1	0.02	29	0.53	36	0.65	1	0.02
岐阜県	27	0.32	60	1.13	47	0.89	142	2.68	89	1.68	2	0.04	6	0.11	28	0.53	4	0.08
静岡県	10	0.07	19	0.22	133	1.55	627	7.29	240	2.79	8	0.09	47	0.55	87	1.01	3	0.03
愛知県	92	0.47	74	0.41	251	1.38	674	3.70	308	1.69	33	0.18	84	0.46	128	0.70	5	0.03
三重県	6	0.08	22	0.49	128	2.84	373	8.29	77	1.71	1	0.02	15	0.33	51	1.13	-	-
滋賀県	2	0.04	6	0.18	28	0.85	202	6.12	45	1.36	2	0.06	4	0.12	19	0.58	-	-
京都府	2	0.02	8	0.11	95	1.25	598	7.87	99	1.30	2	0.03	15	0.20	42	0.55	-	-
大阪府	20	0.07	37	0.19	239	1.23	1277	6.55	385	1.97	16	0.08	71	0.36	115	0.59	5	0.03
兵庫県	32	0.16	32	0.25	149	1.16	1071	8.37	242	1.89	54	0.42	73	0.57	107	0.84	4	0.03
奈良県	1	0.02	18	0.51	73	2.09	208	5.94	56	1.60	1	0.03	20	0.57	19	0.54	1	0.03
和歌山県	-	-	12	0.39	33	1.06	192	6.19	64	2.06	1	0.03	23	0.74	31	1.00	1	0.03
鳥取県	25	0.86	17	0.89	70	3.68	298	15.68	42	2.21	3	0.16	-	-	14	0.74	-	-
島根県	62	1.63	21	0.91	14	0.61	302	13.13	40	1.74	2	0.09	6	0.26	21	0.91	1	0.04
岡山県	5	0.06	19	0.35	50	0.93	327	6.06	77	1.43	-	-	10	0.19	44	0.81	-	-
広島県	254	2.12	32	0.43	80	1.07	850	11.33	102	1.36	2	0.03	21	0.28	48	0.64	1	0.01
山口県	74	1.06	33	0.67	91	1.86	479	9.78	80	1.63	-	-	1	0.02	52	1.06	2	0.04
徳島県	-	-	11	0.48	20	0.87	176	7.65	29	1.26	1	0.04	5	0.22	23	1.00	-	-
香川県	-	-	3	0.09	42	1.31	162	5.06	74	2.31	1	0.03	6	0.19	27	0.84	-	-
愛媛県	-	-	17	0.44	57	1.46	342	8.77	110	2.82	-	-	14	0.36	50	1.28	1	0.03
高知県	-	-	9	0.29	40	1.29	103	3.32	63	2.03	-	-	4	0.13	19	0.61	1	0.03
福岡県	134	0.68	27	0.23	322	2.68	983	8.19	317	2.64	25	0.21	26	0.22	119	0.99	5	0.04
佐賀県	11	0.28	12	0.52	25	1.09	129	5.61	73	3.17	1	0.04	1	0.04	37	1.61	1	0.04
長崎県	45	0.64	19	0.43	39	0.89	294	6.68	83	1.89	2	0.05	4	0.09	20	0.45	-	-
熊本県	23	0.28	10	0.20	118	2.41	262	5.35	109	2.22	5	0.10	4	0.08	49	1.00	1	0.02
大分県	42	0.72	21	0.58	53	1.47	390	10.83	68	1.89	-	-	33	0.92	32	0.89	-	-
宮崎県	37	0.63	66	1.83	68	1.89	461	12.81	144	4.00	4	0.11	6	0.17	64	1.78	-	-
鹿児島県	10	0.11	18	0.32	46	0.81	305	5.35	176	3.09	1	0.02	8	0.14	49	0.86	1	0.02
沖縄県	121	2.09	1	0.03	11	0.32	28	0.82	99	2.91	26	0.76	3	0.09	18	0.53	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年17週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	203	0.07	392	0.13	79	0.03	1787	0.59	9	0.01	554	0.87	5	0.01	11	0.02	71	0.15
北海道	2	0.01	-	-	1	0.01	69	0.48	-	-	20	0.69	-	-	-	-	2	0.09
青森県	3	0.07	2	0.05	-	-	29	0.69	-	-	5	0.45	-	-	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	13	0.34	-	-	15	0.39	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	4	0.07	6	0.10	-	-	22	0.37	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	10	0.29	-	-	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
山形県	1	0.03	-	-	1	0.03	8	0.27	-	-	3	0.38	-	-	-	-	2	0.20
福島県	4	0.08	1	0.02	3	0.06	20	0.42	-	-	12	1.00	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	2	0.03	4	0.05	14	0.19	-	-	49	3.06	-	-	-	-	3	0.27
栃木県	8	0.17	1	0.02	10	0.22	5	0.11	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	24	0.39	1	0.02	3	0.05	46	0.74	-	-	23	1.64	-	-	-	-	5	0.50
埼玉県	20	0.13	8	0.05	8	0.05	102	0.65	-	-	20	0.54	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	4	0.03	3	0.02	55	0.42	-	-	33	1.00	-	-	-	-	-	-
東京都	20	0.14	14	0.10	1	0.01	38	0.27	-	-	11	0.79	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	17	0.08	10	0.05	6	0.03	115	0.56	-	-	35	0.83	-	-	1	0.08	-	-
新潟県	5	0.08	-	-	2	0.03	56	0.93	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	-	-	-	-	20	0.69	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	15	0.52	-	-	5	0.17	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.09	2	0.09	-	-	11	0.50	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	2	0.08	-	-	2	0.67	-	-	-	-	8	0.80
長野県	1	0.02	1	0.02	-	-	23	0.42	-	-	3	0.27	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	4	0.08	-	-	39	0.74	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	4	0.05	1	0.01	90	1.05	-	-	11	0.55	-	-	1	0.10	-	-
愛知県	3	0.02	24	0.13	-	-	165	0.91	1	0.03	29	0.83	-	-	-	-	7	0.54
三重県	-	-	3	0.07	-	-	13	0.29	-	-	1	0.08	2	0.22	-	-	-	-
滋賀県	4	0.12	3	0.09	-	-	9	0.27	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
京都府	7	0.09	4	0.05	2	0.03	31	0.41	-	-	6	0.32	-	-	1	0.14	1	0.14
大阪府	12	0.06	34	0.17	5	0.03	108	0.55	-	-	14	0.29	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	4	0.03	24	0.19	17	0.13	126	0.98	-	-	44	1.26	-	-	1	0.08	1	0.08
奈良県	-	-	2	0.06	1	0.03	11	0.31	-	-	8	0.89	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	14	0.45	-	-	29	0.94	-	-	1	0.25	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	1	0.05	1	0.05	-	-	10	0.53	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	17	0.74	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	-	-	20	0.37	-	-	12	1.00	-	-	-	-	1	0.20
広島県	3	0.04	36	0.48	-	-	41	0.55	1	0.05	24	1.20	-	-	-	-	1	0.05
山口県	2	0.04	17	0.35	-	-	93	1.90	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	2	0.09	1	0.04	5	0.22	1	0.04	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	7	0.22	-	-	9	0.28	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	17	0.44	-	-	24	0.62	-	-	9	1.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	2	0.06	29	0.94	-	-	7	2.33	-	-	-	-	4	0.44
福岡県	19	0.16	25	0.21	1	0.01	155	1.29	1	0.04	14	0.54	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	24	1.04	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33
長崎県	1	0.02	5	0.11	-	-	4	0.09	3	0.38	5	0.63	1	0.08	2	0.17	1	0.08
熊本県	-	-	45	0.92	-	-	23	0.47	-	-	6	0.67	1	0.07	-	-	2	0.13
大分県	11	0.31	9	0.25	-	-	10	0.28	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	-	-	19	0.53	1	0.25	5	1.25	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	13	0.23	-	-	2	0.04	17	0.30	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	3	0.09	8	0.24	1	0.03	14	0.41	-	-	80	8.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年17週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	2	0.00	2	0.00	42
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	4
宮城県	1	0.08	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	1	0.11	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	1	0.20	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第17号 平成16年5月14日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。